

11月14日は 世界糖尿病デー

world diabetes day

糖尿病抑制に向けたキャンペーンとして、シンボルカラーであるブルーのライトアップをしております。

当院では以下のようなライトアップをしました。



日本赤十字社

京都第一赤十字病院

人間を救うのは、人間だ。Our world.Your move.

新年

京都第一赤だより

き

す

な

新春号

2024年1月発行
vol. 90

人道と奉仕の赤十字精神に基づき、
患者さまにとって安心できる
適切な医療を行ないます。



泉山長老
俊朝

新設部門と コメディカル紹介!



Contents

- 診療科紹介 集中治療部 2, 3
- 薬剤部紹介 4
- 臨床工学技士紹介 5
- 放射線技師紹介 6
- 栄養課紹介 7
- 11/14世界糖尿病デー ライトアップご紹介! 8



新年あけましておめでとうございます。今年も、
どうぞよろしくお願いします。

今年は辰年で、龍と言えば近所の妙心寺法堂の「雲竜図」を思い浮かべます。大きなお堂の天井いっぱいに描かれた雲竜図は、江戸時代初期の天才絵師・狩野探幽55歳の時の作で、天井龍としてスケール・鮮やかさの点で随一です。引きで見ると、目が絵全体を囲う円のほぼ中心になる構図であり、この技法は「八方睨み」と呼ばれ、どの位置から天井を見上げて龍と目が合うようになっています。何度見ても、その躍動感ある迫力に圧倒されます。仏教では龍は仏を助ける存在とされており、

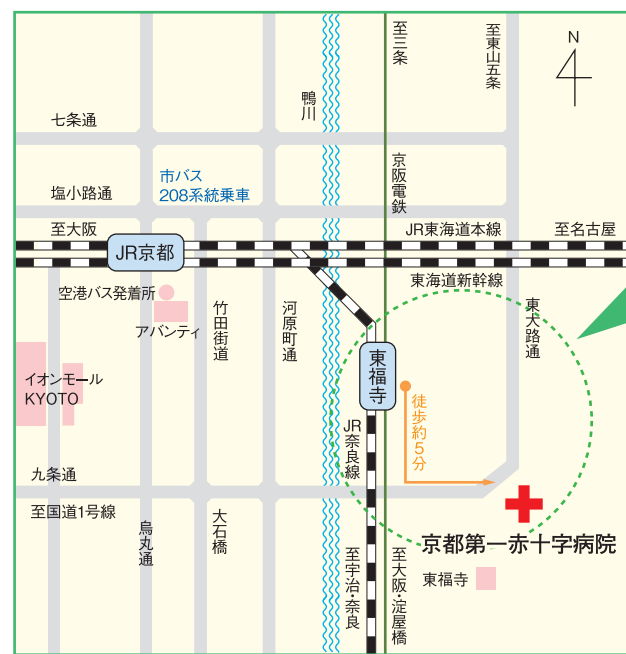
この天井画には「仏の教えを雨のように降らす」という意味が込められているそうです。災害や紛争が絶えない現在において、この天井龍がお堂を飛び出して、仏の慈悲の教えを世界中に降り注ぎ、本年が少しでも平穏で安寧な年になる事と願っています。

さて、今年は診療報酬・介護報酬の同時改定をはじめ当院の体制にも大きな変化のある年にあたりますが、当院のビジョンである「地域に信頼される最高の基幹病院」を目指したいと思いますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

院長 池田 栄人

Access to Japanese Red Cross Kyoto Daiichi Hospital

当院へのアクセス



電車をご利用の場合

JR奈良線、京阪電鉄…「東福寺」駅下車、徒歩5分

バスをご利用の場合

市バス202、207、208系統「東福寺」バス停で下車

車をご利用の場合

【奈良、大阪方面から】… 京都南IC出口、国道1号線を北へ約2.5キロ京阪国道口を東(右折)へ、九条通りを約2.5キロ

【山科、大津方面から】… 国道1号線を西進、東山五条交差点を南(左折)へ、東大路通りを約2キロ

【京都駅付近から】… 竹田街道を南へ約500メートル、大石橋交差点を東(左折)へ九条通りを約500メートル

京都第一赤十字病院

京都市東山区本町15-749 TEL.075-561-1121

地域医療連携室 【直通】TEL.075-533-1280
FAX.075-533-1282

新設

集中治療部

副部長 山崎 正記

地域医療に貢献する集中治療部を目指して



広く、清潔感のある病棟で働いています

成人まで広範な症例を通じて、集中治療医の育成にも力を注いでいます。

また、私たちは集中治療室内だけでなく一般病棟での重症患者さんへのサポートも行っております。具体的には呼吸器ケアチームや早期患者対応システム (RRS) を通じて、人工呼吸器を使

用する患者さんへのサポートや、一般病棟で状態が悪化している患者さんへの早期介入、意思決定支援を行っています。一般病棟、救命センターと集中治療室とのスムーズな連携、患者さん中心の総合的なケアを目指して、日々の診療・ケアを行っています。

地域の病院や医院の先生方と直接やり取りを行うことはあまりありませんが、病院の重症患者さんを預かる部門として、皆様の信頼を得られるよう引き続き努力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

[メンバー紹介]

堀口 真仁
山崎 正記
香村 安健
田畑 雄一
藤本 善大
榎原 巨樹
渡辺 昇永

京都第一赤十字病院の集中治療部は、2023年4月から集中治療科が標榜科として認定されたことを契機に、新たに設立されました。救命センター集中治療室6床と院内集中治療室8床を有し、日夜、患者さんへの診療に尽力しています。

当院の集中治療部門では、医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、理学療法士、栄養士など多岐にわたる医療スタッフが一体となり、高度な医療チームとして診療を提供しています。特に早期リハビリテーション、早期の栄養療

法、術後疼痛管理、およびICU日記などを積極的に取り入れ、患者さんが早期に回復し、円滑に一般病棟へ移行できるように心がけています。

当集中治療室では、心肺停止蘇生後や重症多発外傷、敗血症性ショック、急性心不全、急性心筋梗塞、脳卒中、重症肺炎など、幅広い症例に対応する一方、高度で侵襲度の高い手術の術後管理、入院中の患者さんの状態悪化にも対応し管理しています。スタッフには5名の集中治療専門医が在籍し、救急集中治療から術後管理まで、小児から

[診療実績]

		2018	2019	2020	2021	2022
入室患者数		1106	1167	1020	956	943
ICU転帰(件)	病棟退室	1001	1059	963	871	865
入室中の処置(件)	体温管理療法	16	28	19	20	19
	人工呼吸管理	346	356	355	401	351
	NIV	58	74	27	23	22
	HFNC	127	157	125	111	99
	VA-ECMO	9	18	14	15	17
	VV-ECMO	1	2	1	11	5
	IABP/Impella	33	36	30	35	32
	持続的腎代替療法	65	69	69	59	57
	SLED/SLED-f	38	44	46	38	41
	HD/HDF	100	62	72	82	83
	血液吸着	6	7	5	6	3

薬剤師

部長 土谷 有美

A型牡羊座ですが、部内では、A型の真面目・几帳面さがないと言われています（おかしいなあ？）
足りないところは、部員に助けられながら業務にあたっています。

病院地下に生息する43人の薬剤師と10人の薬剤師以外の職員、
総勢53人の縁の下の力持ち!?

今年の3月から薬剤師のユニフォームを落ち着いたチャコールグレーの上下に統一して、院内では、薬剤師と認識していただきやすくなったと思います。

そんな薬剤部ですが、調剤課・製剤課・薬剤情報課・病棟薬剤業務課・薬剤管理課の5つの課から構成されており、「安心・安全で質の高い、適切な薬物療法の提供」をモットーに、それぞれの業務をリンクさせながら、業務をすすめています。



全員は写っていませんが、ユニフォーム変更記念に集合写真を撮りました。ねずみ色の集団です。

各科の紹介を簡単に・・・

調剤・製剤課は、

我々の商売道具である医薬品を扱う、最も要となる業務です。

内服・注射などの調剤をして、薬剤部から正確に払い出しをすることはもちろんですが、払い出された後も、安全に使っていただけるように、薬品のリマインダーを貼付、処方箋コメントの工夫など、試行錯誤を続けています。業務の正確性、効率化を考慮して、薬剤助手さんへのタスクシフトや、機械化も取り入れつつ、最後は、薬剤師の目で適切な薬物療法であることを確認しています。

薬剤情報課は、

医薬品が安全に使われるための情報を扱う部門になります。

現代では、薬と情報がセットで動かないと、薬物療法には寄与できないと言っても過言ではありません。院内への情報発信とともに、薬物治療に関する質問などにもお答えしています。

病棟薬剤業務課は、

病棟での薬剤業務を行う課です。入院患者さんの聴取、指導、処方の監査、その他、病棟における「薬」全般を守備範囲にしています。

退院時には、お薬手帳に入院中の薬剤使用に関する特記事項や退院処方内容を記載した「退院時薬剤情報提供書」を貼付させていただいています。参考にいただけたら幸いです。

薬剤管理課は、

治験・製造販売後調査などの管理に加え、院内の医薬品の安全管理に関することなどを業務として行っています。

院外の先生方には、なじみが薄いかもかもしれませんが、患者さんを介して、お役に立ちたいと思っておりますので、見学、お問い合わせなど、お気軽にお声がけください！

退院された患者さんのお薬手帳に、貼付しています。患者さんのお薬手帳を見せてもらってください。

今年度4月～10月の実績の一部 月平均

薬剤管理指導件数	2064件
薬剤管理指導実施率	85%
入院・外来 処方箋、注射箋枚数	23,121枚

臨床工学技士

課長 宮下 誠

【ハマっていること】

ここ数年はyoutube鑑賞にドハマリしています。メジャーリーグの大谷翔平です。毎日一喜一憂して昼休憩が去っていきます。

伸びたラーメン、
腹が減れば十分美味し

緊急呼び出し喜んで！



臨床工学技士（通称：ME）の宮下と申します。平素は当院の急性期医療にご高配賜り誠にありがとうございます。僭越ながら当課MEの業務紹介をさせていただきます。簡単に申しますと生命維持装置などの医療機器を操作・管理をしています。循環器関連では内科と外科チームに分かれ内科チームは心臓カテーテル治療やアブレーション業務に携わっています。外科チームは主に開心術における人工心肺業務を担っています。当院は急性

期医療を得意としているため特に循環器関連は緊急呼出しが多く待たないで緊急手術や緊急カテ、ECMO等の補助循環業務を施行します。当然の如く、昼休憩にてカップラーメンにお湯を注ぎ3分経とうとしたその時、緊急コールなんてことはよくあります。その後、無事に業務が終了して休憩室に戻るとそこはラーメンの匂いで食欲増進、ただ残念なのは麺が3倍に膨らみ、スープという液面はカップの遥か遠方、膨らみきった麺が目

視を阻みます。ただ、さぞかしマズいのかと思いきや一仕事終えた満足度と低血糖がいまみえて十分に美味しいです。ご理解いただける方は沢山いらっしゃるのではないのでしょうか。

さて、話を戻すと上記以外に当院は血液浄化業務も得意としています。急性期血液浄化から慢性期の維持透析患者さんなど幅広く施行させて頂いています。また、腎臓内科医の御尽力もありアフェレーシス業務に至っては過去最高の年間211件施行致しました。その他には地

域がん診療連携拠点病院でもあり近年、ロボット支援手術やナビゲーション手術も盛んに施行され、それと同じくしてMEの需要も増したことにより手術室にも常駐しME業務を展開しています。取り上げたらキリがないのですが救急、集中治療、血液内科、消化器内科とも業務を沢山行っています。院長のスローガンにある「地域に信頼される最高の基幹病院を目指して」精進してまいりたいと思います。引き続き宜しくお願い致します。



診療放射線技師

課長
澤 悟史

新しい技術、装置、人 ～人と技術を繋ぐ！～

32名の診療放射線技師がX線装置・CT装置・核磁気共鳴装置・血管造影装置などを使い、画像診断検査や放射線治療を行なっています。比較的高額で大型の装置が多いですが技術革新が早い分野なので日々の研鑽が欠かせません。

コロナ禍に導入された最新の装置をご紹介します。



骨塩定量装置

令和5年9月に骨密度を測定する装置Hologic社製Horizonが導入されました。この装置は放射線のより低被ばくで測定精度が高いDXA（二重X線吸収）法を用いて腰椎や大腿骨（股関節頸部）の骨密度を測定することができます。

前機種もHologic社製のため、これまで検査を受けられていた方もデータを引き継いでいますので安心して検査を受けていただけます。

CT装置

当院では救命救急センター専用装置を含め3台のCT装置が稼働しています。その内の一台は320列のエアディテクターを搭載し、寝台を移動させることなく頭部や心臓などの臓器を1回転で撮影が可能です。また最先端技術である人工知能（AI）技術を応用した画像再構成により、画質向上と被ばく低減を両立し、より確信度の高

い診断をサポートしています。

実際の検査では、検査の部位に応じて息止めが必要な場合や検査の内容によっては造影剤を使用して検査が行われることがありますが、非常に短い時間で検査を終えることができ、一般的には苦痛の少ない検査と言えます。



MRI装置

2020年に更新し、Philips社製Ingenia Elition3Tが導入されました。検査時間はあまり変わりませんが、画質が向上し様々な特殊検査を行うことができます。さらにAmbientという映像システムによって、検査

中に風景などの映像や息止めの案内などが表示され、閉所恐怖症の方にとっても好評いただいております。



新人の紹介

- 仲山 明日香 毎日学びと刺激のある職場を楽しみつつ、精一杯研修を頑張ります。
- 地内 大喜 明るく元気な性格を活かし、精進してまいります。
- 矢木 絢子 早く一人前になれるよう、日々先輩からの教えを吸収し自分らしく前進していきます！



※写真左から

管理栄養士

課長 吉岡 宏枝

【私の趣味】

ipadの購入を機にデジタルでイラストを描くようになりました。上達したら自分のアイコンを作成してみたいです。



管理栄養士として

栄養課では、令和3年度に給食業務が部分委託から全面委託へ変更し、栄養管理業務に専念する時間が増えました。

まずは栄養管理を病棟担当制にし、管理栄養士1名で2～3病棟を担当するようにしました。栄養スクリーニングで低栄養やそのリスクがあると判定された患者さんに関しては、食事量や経腸栄養のメニュー、点滴のメニューなどを確認し、栄養管理計画書で算出した必要栄養量が満たされているかを確認します。そこで経口摂取量が少ない患者さんについては、ベッドサイドで聞き取りを行い摂取量が少しでも増えるようなメニューを提案しています。メニューについては、給食委託業者の管理栄養士と情報を共有しながら出来る範囲で個別対応を行っています。中にはなかなか栄養状態が改善されない患者さんもおられ、その場合は栄養サポートチームに依頼し、チームで栄養



管理を行うようにしています。病棟担当制にした事で、これまでよりも細やかに患者さんの栄養状態を把握する事ができ、ベッドサイドに訪問する回数も格段に上がりました。そのおかげで管理栄養士の顔を覚えてもらえるようになり、医師や看護師から声をかけてもらえる機会も増えました。

また、令和4年度診療報酬改定により栄養管理に対する加算が増え、新たに周術期栄養管理加算の算定を開始し

ました。これはマスクまたは気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔を伴う手術を行う方に対して手術の前後に必要な栄養管理を行った場合に算定されるものです。まずは消化器外科で食道、胃、大腸の手術が決まった患者さんの介入から始めており、今後は消化器外科だけではなく呼吸器外科、整形外科、乳腺外科など算定する科を徐々に増やし周術期の栄養管理も充実させていきたいと思います。

祝膳リニューアルされました！



病棟カンファレンスの様子